



岐阜県政記者クラブ加盟社各位



令和6年10月18日（金） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
統計課	統計情報係	福田 剛士	内線 3067 直通 058-272-8179 FAX 058-271-5720

第72回統計グラフ全国コンクールに本県の小学生及び中学生の4作品が入賞しました

統計知識の普及と統計の表現技術の研さんに資することを目的とした第72回統計グラフ全国コンクールに、本県の小学生及び中学生の4作品が入賞（入選2作品、佳作2作品）しましたのでお知らせします。

このコンクールには全国から19,409作品の応募（うち、本県応募362作品）があり、本県からは令和6年度岐阜県統計グラフコンクールで上位入賞した18作品を出品したところ、以下の4作品が入賞したものです。

1 入選 2作品

部門	作品名	学校名	学年	氏名
第2部 小学3・4年生	さぐろう！養老サービスエリア！	大垣市立 宇留生小学校	4年	にしで くらと 西出 蔵人
第5部 小中学生パソコン統計グラフ	心理面から見た少子化の傾向	大垣市立 東中学校	3年	やすい れいこ 安井 怜子

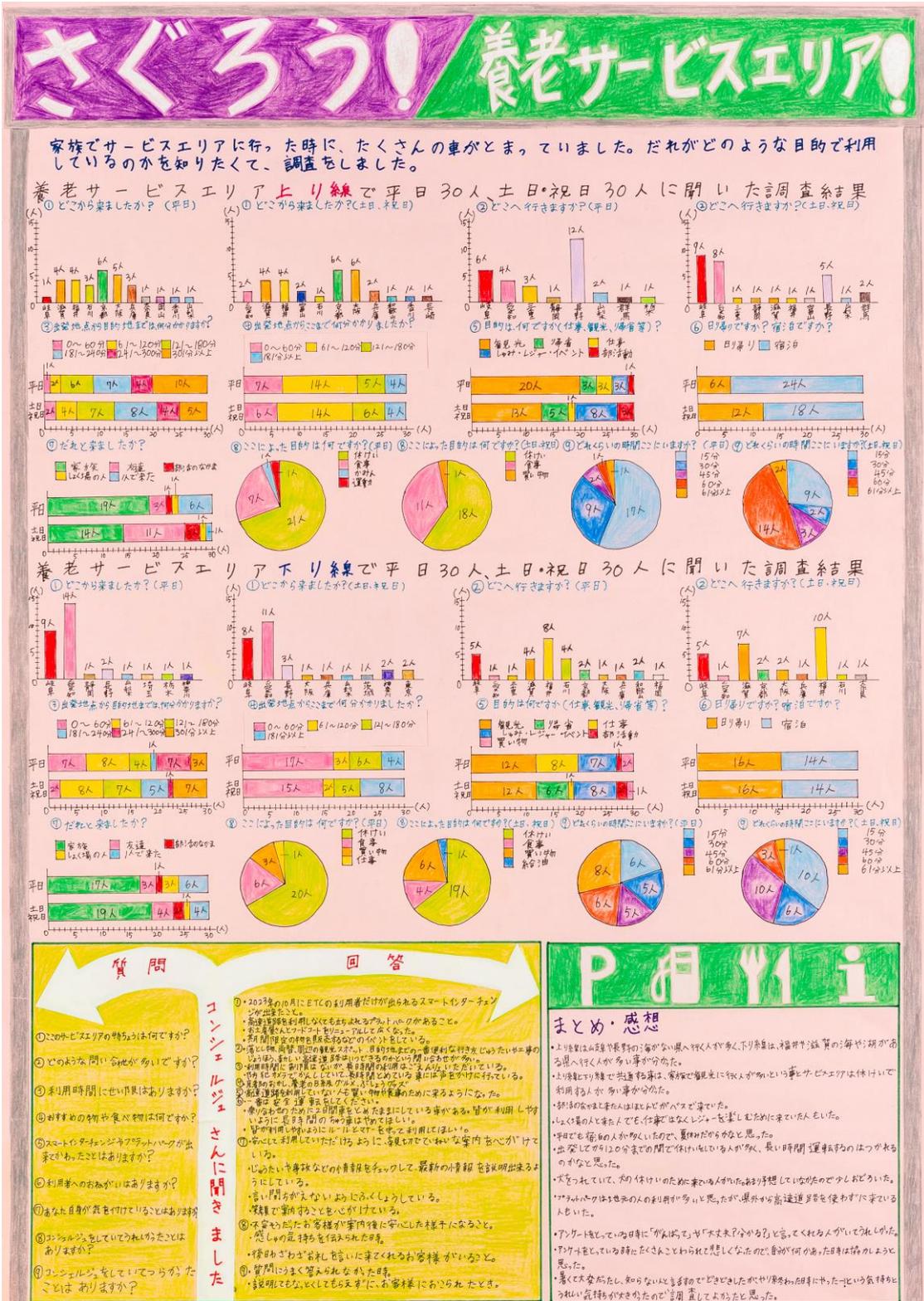
2 佳作 2作品

部門	作品名	学校名	学年	氏名
第1部 小学1・2年生	みんなはツバメにきてほしい??	大垣市立 静里小学校	2年	ふるかわ ひろと 古川 寛人
第2部 小学3・4年生	読書について 3年生と6年生をくらべたよ	大垣市立 興文小学校	3年	すぎもと ゆあ 杉本 結彩

(参考) 第72回統計グラフ全国コンクールの入賞作品数及び出品数

区 分		作 品 数	備 考
入賞作品数	特別賞	総務大臣賞	1 作品
		文部科学大臣賞	1 作品
		日本統計学会会長賞	1 作品
		日本品質管理学会賞	1 作品
		金丸三郎賞	1 作品
		石橋信夫賞	1 作品
	特 選	6 作品	各部の特選の中から特別賞に優秀な作品を選考
	入 選	54 作品(うち本県2 作品)	
	佳 作	119 作品(うち本県2 作品)	
	奨 励 賞	1 作品	
出 品 数		744 作品 (応募総数19,409 作品のうち、都道府県による第一次審査で選出された作品)	各部の特選の中から作品を選考 合計180作品 (うち本県4作品) うち岐阜県18作品(県コンクール 岐阜県知事賞、岐阜新聞社・岐阜放送賞及び入選作品)

作品名 さくろう！ 養老サービスエリア！
氏名 西出 蔵人 (大垣市立宇留生小学校 4年)



作品名 **心理面から見た少子化の傾向**
 氏名 **安井 怜子（大垣市立東中学校 3年）**

心理面から見た少子化の傾向

少子化に影響する心理的な要因

過去からの心理的変化点

これまでの出生数がどう変化してきたか調べた。

- 出生数も合計特殊出生率も 1973 年から減少している。
- 1965 年から 1973 年までは出生数が増えている。
- 「もはや戦後ではない」宣言までは日本は多産多死社会で、出生数が多かった。
- 高度成長期後は、少子育を頭の悪い子供に育てる事や秀でている子に育てる傾向となり、子供を産む心理に変化があった。

どうして出生数が減少しているのか？
 子供を産まなくなってきた心理的状况は何かを考えた。

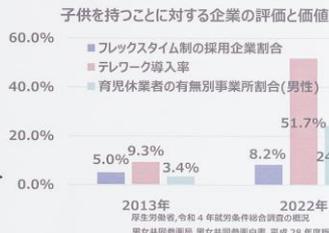
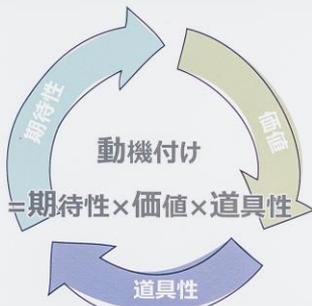
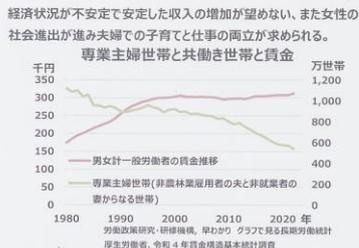


期待理論で考える子供を産む心理

期待理論（Expectation Theory）とは、心理学や経済学、行動科学において、人々が行動を選択する際に、その行動がもたらす結果に対して期待する利益や満足感に基づいて意思決定を行うという理論。この理論は、特にモチベーション（動機付け）を説明する際に用いられる。

例えば、企業が従業員のモチベーションを高めるためには、従業員が努力することが成果につながり、その成果が価値のある報酬に結びつくことと確信できる環境を整えることが重要。

期待性：個人が特定の行動を取ることで、望む成果を得られると信じる確率



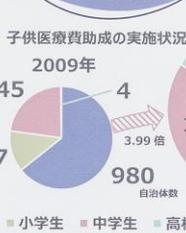
価値：個人や社会がその成果や報酬に対して感じる価値のこと

社会的に子育ての価値を認め、企業ぐるみで制度を整えている割合が増えた。テレワークにより、移動時間が削減されたため育児に費やすことができる。

道具性：期待される成果が、さらに別の成果（報酬や評価など）に結びつくと信じる確率



医療費を助成することにより子育ての道具性を高める自治体が急激に増えた。高校生まで助成することにより自治体間で競争が生じ、子供人口の取り合いに発展している。



■ 未就学児 ■ 小学生 ■ 中学生 ■ 高校生

子供を産むという動機付けに変化はあったか？

- テレワーク導入はコストがかかるのに導入率が4倍に増えていることから、社会が子育てに価値を認めている。
- 昔と比べて子育ての環境（男性の育休取得、女性の働きやすい環境）が変わった。
- バブル崩壊後の不安定な経済状況により期待感が持てない。
- 秀でている子に育てる費用と資金のバランスがとれない為に子育ての期待を持てない。

動機付け (2013年比) **9.3倍**

	2013年	2022年	増加倍率
期待性	295.7万円	311.8万円	1.05倍
価値	平均 12.6%	平均 28.0%	2.22倍
道具性	1,526自治体	6,102自治体	3.99倍

出産における心理面は向上しているが日々の生活における恋愛の重要度、男女同士の出会いが大きく変化している可能性がある。
 少子化対策をするには結婚前の若い世代の心理をもっと知る必要がある。

第1部 (小学校1・2年生の作品) 全国コンクール 佳作

作品名 みんなはツバメにきてほしい??
氏名 古川 寛人 (大垣市立静里小学校 2年)

みんなはツバメにきてほしい??

ぼくの家には3年れんぞくでツバメがきていていまぼくはツバメはかわりにからきてくれられいであとツバメがこないようにしようしてある家があるのでみんなはきてほしいのかな? と思ってしらべました

2016年7月
しず小2年2組 24人(子ども)
と先生19人(おとな)にききました

ぼくの家にとしきたツバメ

1回目のさんらん たまごうんだ目 5/9~5/12 ふかした目 5/17	たまごの数とふかした姿 
2回目のさんらん たまごうんだ目 6/21~6/24 ふかした目 7/18・7/19	

ツバメがすにるところを見たことがありますか? (子ども17人 おとな19人) 35人

はい 7人
いいえ 0人

じいんの家にツバメのすをつくらしてほしいですか?

子ども はい 11人 いいえ 13人	おとな はい 12人 いいえ 7人
--------------------------	-------------------------

どうして?

「はい」の理由 (子ども 11人 おとな 12人)

子ども	「はい」の理由 (子ども)	おとな
<ul style="list-style-type: none"> かわいから かんさつしてみたいから しずさをばんでるから はなやかにふるから あまほろいからふるから 	<ul style="list-style-type: none"> かわいから かんさつしてみたいから しずさをばんでるから そのほか 1人が 	<ul style="list-style-type: none"> おとなの家がよれるから へびがつかつかおそいから うるさいから 鳥がこまから そのほか 1人が

「いいえ」の理由 (子ども 13人 おとな 7人)

子ども	「いいえ」の理由 (子ども)	おとな
<ul style="list-style-type: none"> ふんがよれるから しずまから あまほろいからふるから あまほろいからふるから あまほろいからふるから 	<ul style="list-style-type: none"> ふんがよれるから しずまから あまほろいからふるから あまほろいからふるから あまほろいからふるから 	<ul style="list-style-type: none"> ふんがよれるから しずまから あまほろいからふるから あまほろいからふるから あまほろいからふるから

作品名 読書について 3年生と6年生をくらべたよ
氏名 杉本 結彩 (大垣市立興文小学校 3年)

